

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 愛誠会 トミーズ		
○保護者評価実施期間	2024年12月7日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達上のニーズを把握し、個々に合わせた支援提供	・子どもの様子や保護者との会話で見える課題やニーズを把握し、発達状況に応じてスモールステップを大切に支援を実践している。	・日々の生活や活動を行う中で、うまくいかない時にはひとつ前の段階に戻り、達成感を得られる機会を継続的に増やしていく。
2	悩みや相談に関する対応	・子育て悩みや、保育園や幼稚園、小学校に関する移行についての話など、必要に応じて面談をしたり、送迎時に話を伺う等して、相談しやすい環境作りの配慮をしている。	・保護者の方が悩んでいる場合には、その都度面談や話をする機会を多く設けていく。また、保護者交流会、おしゃべり会、クリスマス会などを通して、親御様同士が悩みや相談、ざっくばらんに話をする機会は継続していく。
3	専門的かつスケールメリットを生かしたサポート	・全員保育士を配置し、こどもの成長に寄り添った関わりや発達段階に応じた療育を提供する。また、障害のある方へのサポートを成人期にも行っている法人であるため、障害のある方への支援技術や将来のビジョンを相談しやすい環境であると思われる。	・常勤、非常勤に関わらず、利用する児童の進路相談や保護者の悩みに応じることができるよう研修を受講する。 ・交流会などで先輩保護者や放デイ職員からの相談会などを実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流状況に関する情報提示が弱い	・園外活動を通してお子様が、地域の公園や広場にどのような関わりを持っているのかを保護者に伝えきれていない。	・園外活動に関しては、地域とどのような形で関わりをもっているのかという情報を、交流会の場や送迎時にお伝えすることで活動の機会を知ってもらう。
2	支援プログラムの内容提示と呼びかけ	・支援プログラムで行っている5領域に関して、保護者が周知できていない。	送迎時や面談の機会に、支援プログラムの内容を伝えたり、5領域のどのような部分をねらいとして活動を行っているのかを踏まえた話をしていくことで、周知を図っていく。
3			